

知財の広場

特許行政年次報告書 2018 年版 知財が紡ぐ先人の想い ～明治 150 年を迎えて～

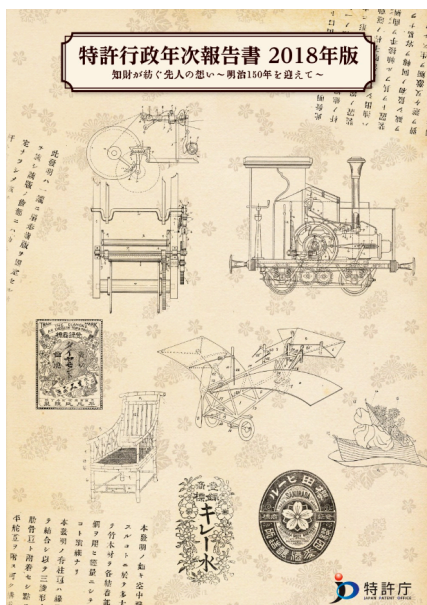
特許庁より、2018 年度版の「特許行政年次報告書」が 6 月 28 日に発行されています。

今年は、明治元年（1868 年）から満 150 年を迎える節目の年だそうです。

明治初期から中期にかけて、当時の先達が、諸外国の技術との圧倒的な差を感じ、世界に追いつき、追い越すためには、我が国に産業財産権制度の導入が必要であるとして、その制度設計に尽力してきた姿や想いが詳しく紹介されています。

一読していただければ、我が国の産業を世界トップレベルにまで押し上げてきた産業財産権制度の礎となった先達たちの思いが開示されています。

吉井映滋（知財ナビゲーター）



専売特許所設置当時の職員

（前から 2 列目中央に初代特許庁長官
の高橋是清）

http://www.jpo.go.jp/shiryoutoushin/nenji/nenpou2018_index.htm